

# 農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES  
表

平成16年10月7日発

平成14年度・15年度持続的生産環境に関する実態調査

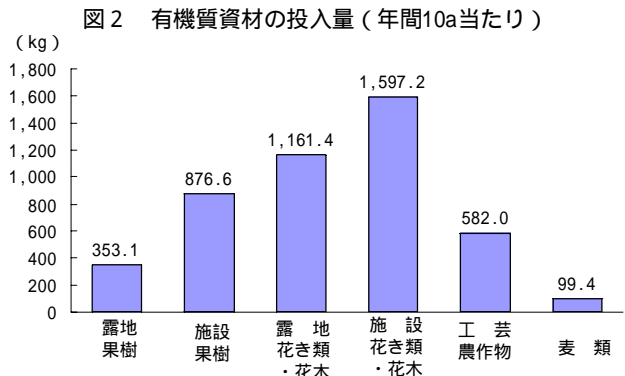
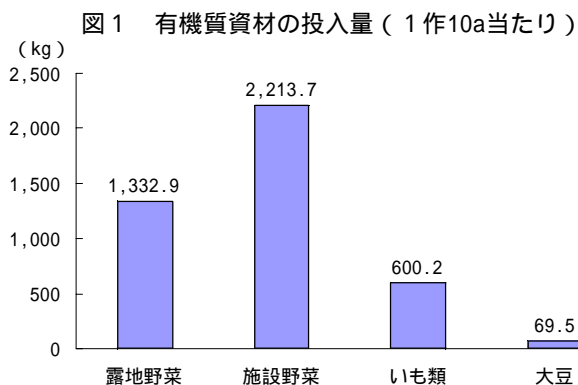
## 持続性の高い農業生産方式への取組状況調査結果の概要(九州)

本調査は、有機質資材、化学肥料及び農薬の投入実態や、持続性の高い農業技術に関する意向等を把握するため、平成14年度・15年度に調査を実施したものです。  
14年度は露地野菜、施設野菜、いも類及び豆類を対象として調査を行ったもので、肥料等の投入量、回数は1作10a当たりとなっており、15年度は露地果樹、施設果樹、露地花き類・花木、施設花き類・花木、工芸農作物及び麦類を対象に調査を行ったもので、肥料等の投入量、回数は年間10a当たりとなっています。  
なお、調査期間は両調査年度とも12月1日～翌年11月30日の1年間となっています。

### 【調査結果の概要】

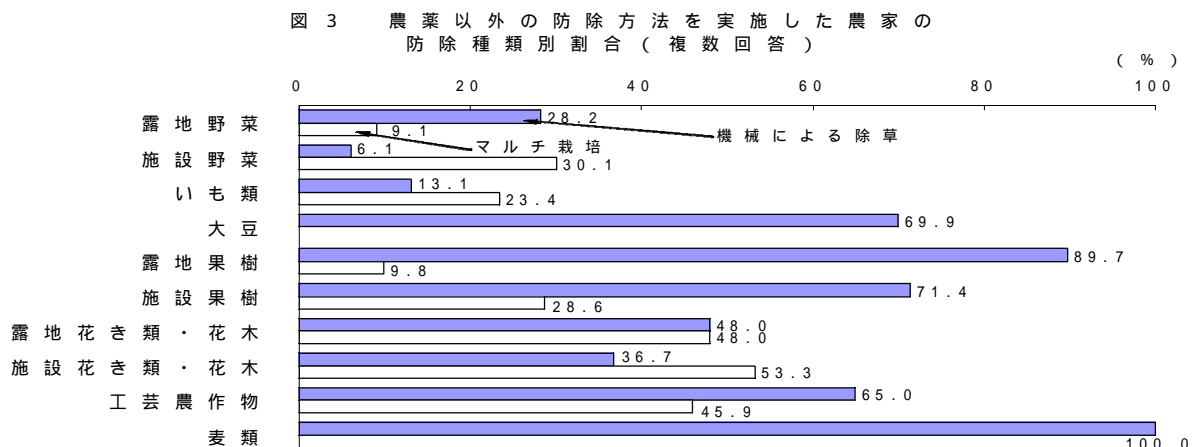
#### 1 有機質資材の投入量

有機質資材の10a当たり投入量は、露地野菜が1,332.9kg、施設野菜が2,213.7kg、いも類が600.2kg、大豆が69.5kg、露地果樹が353.1kg、施設果樹が876.6kg、露地花き類・花木が1,161.4kg、施設花き類・花木が1,597.2kg、工芸農作物が582.0kg、麦類が99.4kgとなっています。



#### 2 農薬以外の防除方法を実施した農家の防除種類別割合(複数回答)

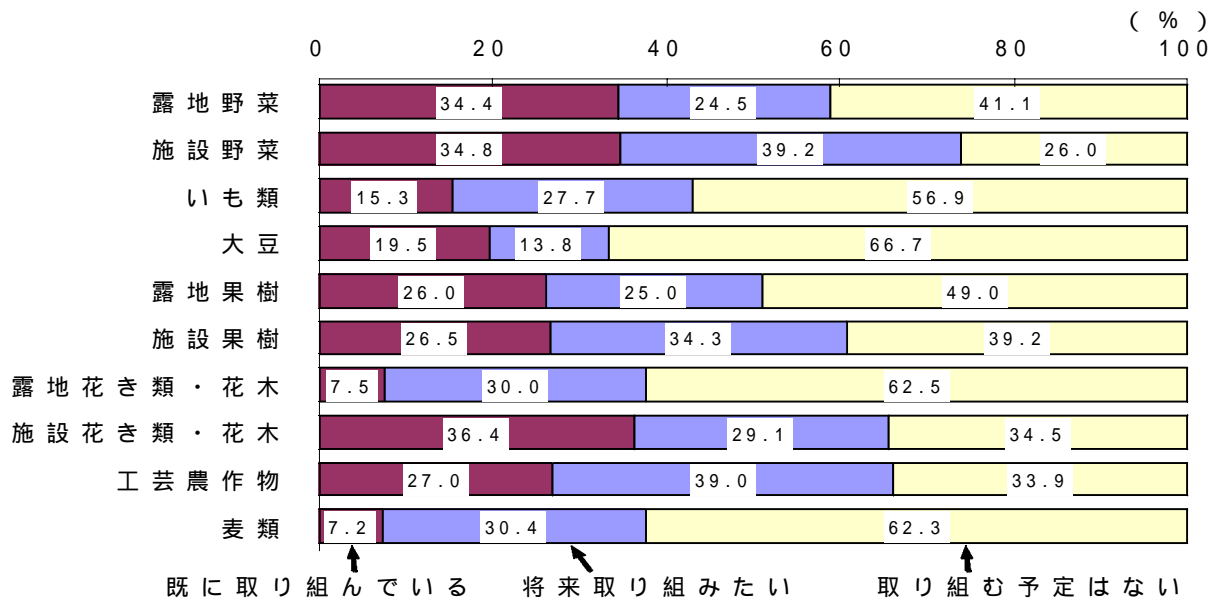
農薬以外の防除方法を実施した農家の防除種類別割合は、「機械による除草」を行った割合が麦類、露地果樹、施設果樹等で高く、「マルチ栽培」を行った割合は、施設花き類・花木で最も高くなっています。



### 3 化学肥料、化学農薬を縮減する栽培方法についての意向

化学肥料、化学農薬をともに地域の慣行の半分以下に縮減する栽培方法への取り組み意向について、「既に取り組んでいる」及び「将来取り組みたい」を合わせた農家数割合は、施設野菜が74.0%と最も高く、次いで工芸農作物が66.0%、施設花き類・花木が65.5%となっています。

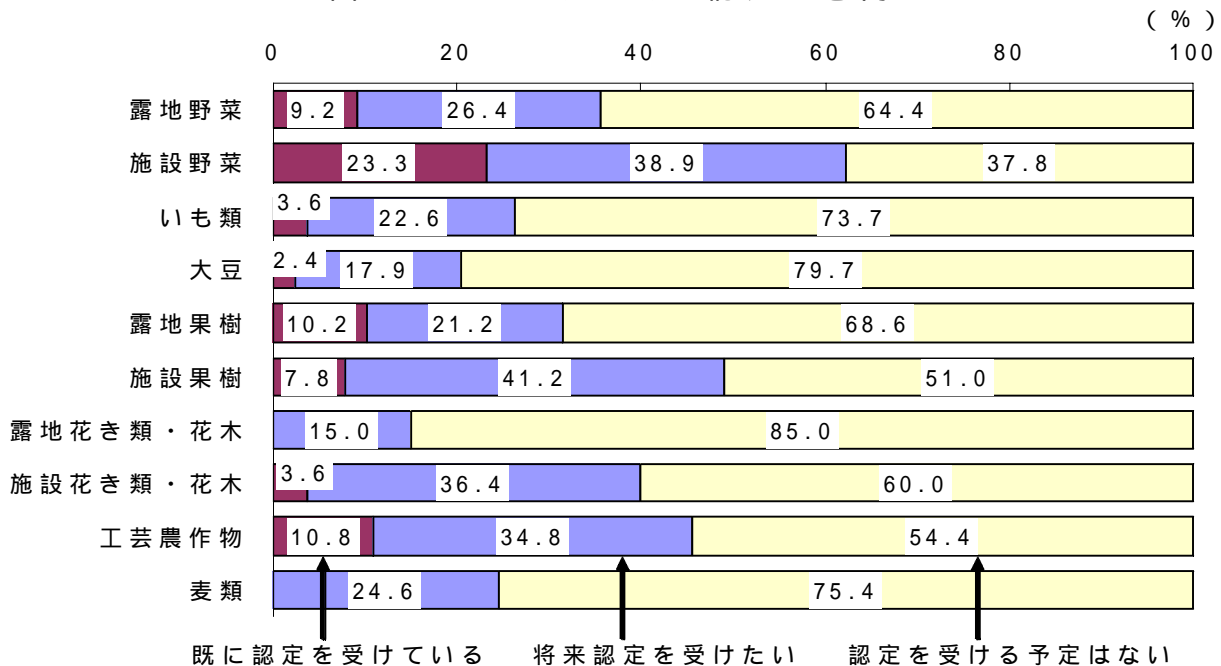
図4 化学肥料、化学農薬をともに地域の慣行の半分以下に縮減する栽培方法についての意向



### 4 エコファーマー認定の意向

エコファーマー認定の意向について、「既に認定を受けている」及び「将来認定を受けたい」を合わせた農家数割合は、施設野菜が62.2%と最も高く、次いで施設果樹が49.0%、工芸農作物が45.6%となっています。

図5 エコファーマー認定の意向



この調査に使われている用語については、P31~34『(参考)調査の定義及び約束事項』で説明しています。

## 【解説】

### 1 有機質資材の投入状況

#### (1) 有機質資材投入量(1作10a当たり)

有機質資材の1作10a当たり投入量は、施設野菜が2,213.7kgと最も多く、次いで露地野菜が1,332.9kgとなっています。

また、すべての作目において有機質資材の投入量の大部分をたい肥(家畜ふん尿たい肥)が占めています。

#### (2) 有機質資材投入量(年間10a当たり)

有機質資材の年間10a当たり投入量は、施設花き類・花木が1,597.2kgと最も多く、次いで露地花き類・花木が1,161.4kgとなっています。

また、すべての作目において有機質資材の投入量の大部分をたい肥(家畜ふん尿たい肥)が占めています。

表1 有機質資材の投入量(1作10a当たり)

単位: kg

作目	計	動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	たい肥	家畜ふん尿たい肥
露地野菜	1 332.9	9.3	29.4	13.7	1 280.5	1 212.1
施設野菜	2 213.7	38.2	78.7	51.4	2 045.3	1 579.8
いも類	600.2	0.2	6.1	1.8	592.1	577.0
大豆	69.5	0.0	0.0	0.0	69.5	69.0

表2 有機質資材の投入量(年間10a当たり)

単位: kg

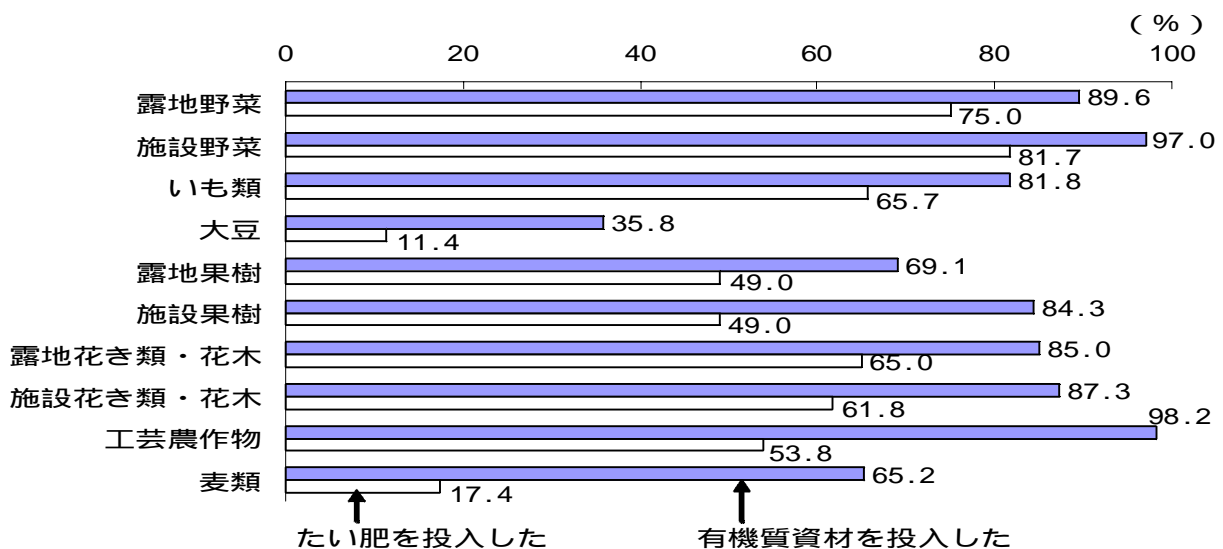
作目	計	動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	たい肥	家畜ふん尿たい肥
露地果樹	353.1	11.5	21.7	7.8	312.0	277.4
施設果樹	876.6	29.2	79.5	18.1	749.7	630.8
露地花き類・花木	1 161.4	7.1	52.9	17.5	1 083.9	973.9
施設花き類・花木	1 597.2	40.7	63.6	39.7	1 453.3	1 206.4
工芸農作物	582.0	21.1	76.5	13.1	471.3	389.0
麦類	99.4	0.0	2.2	0.0	97.2	97.2

#### (3) 有機質資材の投入農家数割合(複数回答)

有機質資材を投入した農家数割合は、大豆を除いたすべての作目で60%以上と高い割合となっています。

また、たい肥を投入した農家数割合は、施設野菜が81.7%と最も高く、次いで露地野菜75.0%、いも類65.7%となっています。

図6 有機質資材、たい肥を投入した農家数割合(複数回答)



## 2 化学肥料の投入状況

### (1) 化学肥料の投入量（1作10a当たり）

化学肥料の1作10a当たり投入量は、施設野菜で238.5kg、露地野菜で144.2kgとなっています。これを、化学肥料の種類別にみると、施設野菜で、普通化成肥料及び配合肥料の投入量が多く、露地野菜では、高度化成肥料の投入量が多くなっています。

### (2) 化学肥料の投入量（年間10a当たり）

化学肥料の年間10a当たり投入量は、施設花き類・花木が254.8kg、工芸農作物が237.1kg、施設果樹が170.9kgとなっています。これを、化学肥料の種類別にみると、麦類を除いた作目において、配合肥料の投入量が多くなっています。

表3 化学肥料の投入量（1作10a当たり）

単位：kg

作 目	計	単 肥	普通化成肥料	高度化成肥料	配合肥料	その他
露 地 野 菜	144.2	15.4	16.1	66.7	39.5	6.6
施 設 野 菜	238.5	22.5	70.8	22.7	84.1	38.4
い も 類	123.6	17.2	10.5	38.5	54.6	2.9
大 豆	9.1	1.8	2.1	4.7	0.5	-

表4 化学肥料の投入量（年間10a当たり）

単位：kg

作 目	計	単 肥	普通化成肥料	高度化成肥料	配合肥料	その他
露 地 果 樹	132.1	5.1	25.2	14.7	72.7	14.3
施 設 果 樹	170.9	15.2	26.1	5.0	95.2	29.4
露地花き類・花木	139.6	11.0	37.3	23.9	58.4	9.1
施設花き類・花木	254.8	15.3	50.6	30.8	80.4	77.6
工 芸 農 作 物	237.1	44.7	15.0	31.5	141.5	4.3
麦 類	64.3	1.9	0.6	37.2	24.7	-

### (3) 化学肥料の成分換算投入量（窒素、りん酸、加里）

化学肥料の成分ベースでみた10a当たりの投入量は、いも類、大豆、露地花き類・花木を除いた作目で窒素成分割合が最も高くなっています。

図7 化学肥料の成分換算投入量（1作10a当たり）

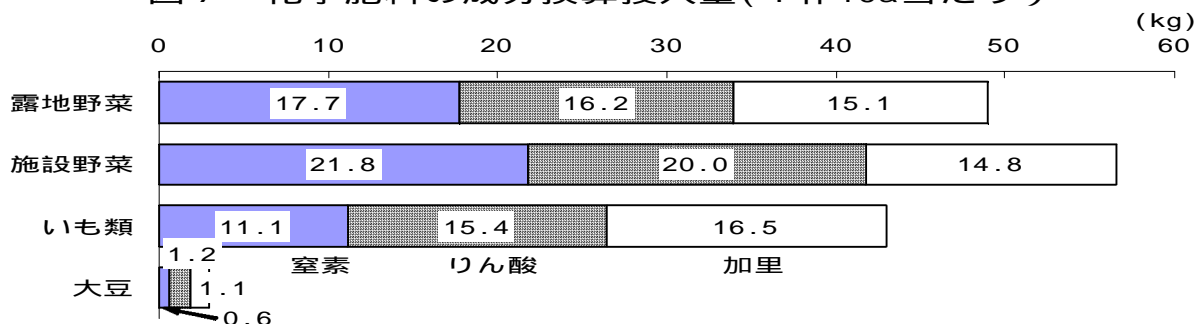
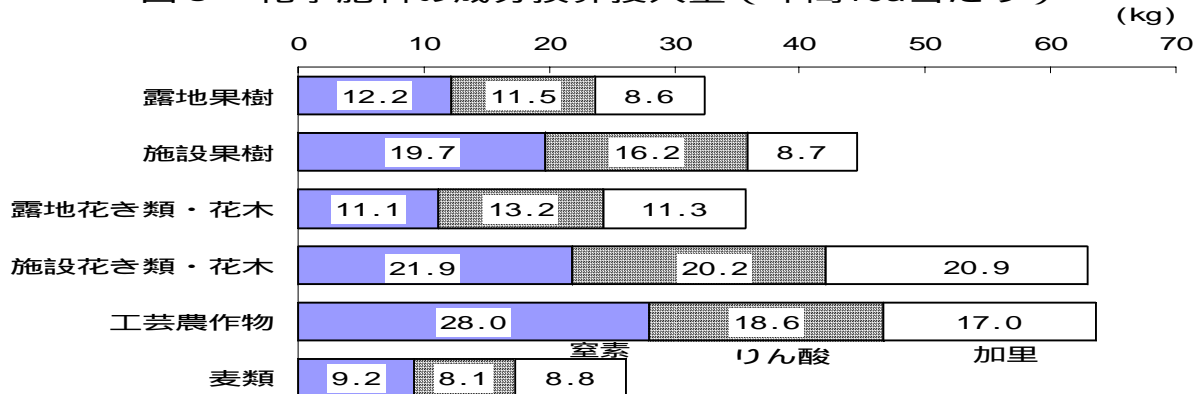


図8 化学肥料の成分換算投入量（年間10a当たり）

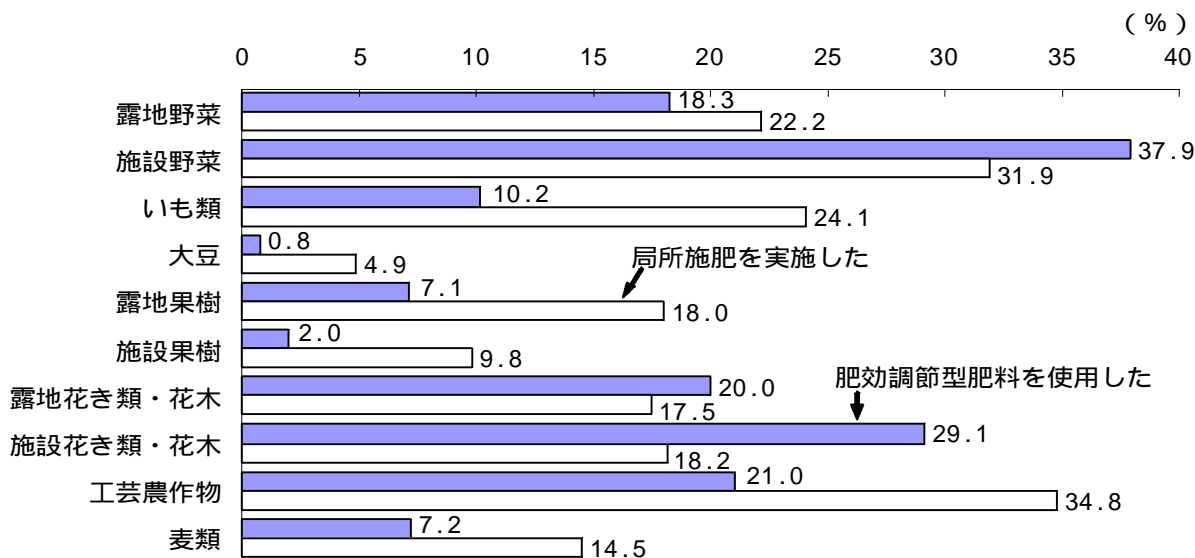


#### (4) 肥効調節型肥料と局所施肥

肥効調節型肥料を使用した農家数割合は、施設野菜37.9%、施設花き類・花木が29.1%、  
 工芸農作物が21.0%となっています。

また、局所施肥を実施した農家数割合は、工芸農作物で34.8%と最も高く、次いで  
 施設野菜31.9%、いも類24.1%となっています。

図9 肥効調節型肥料の使用及び局所施肥の実施農家数割合



### 3 農薬の投入実回数

#### (1) 農薬の投入実回数(1作10a当たり)

農薬の投入実回数は、施設野菜で20.0回と最も高くなっています。

#### (2) 農薬の投入実回数(年間10a当たり)

農薬の年間投入実回数は、施設花き類・花木が61.2回、露地花き類・花木が38.4回  
 となっています。

図10 農薬の投入実回数(1作10a当たり)

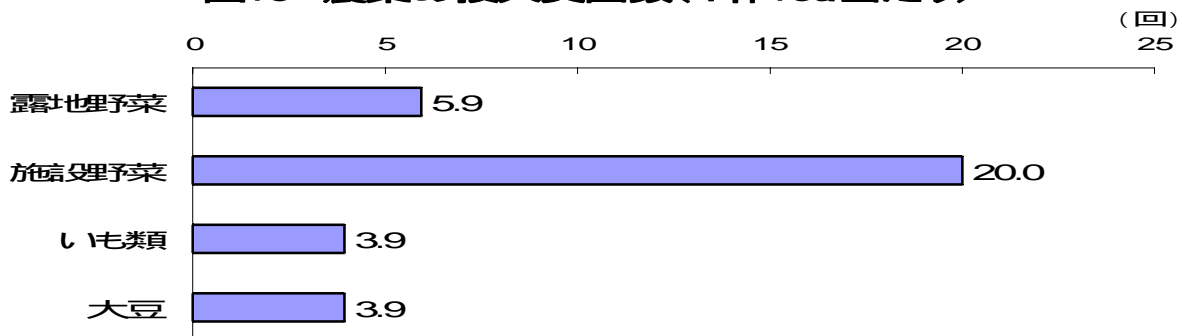
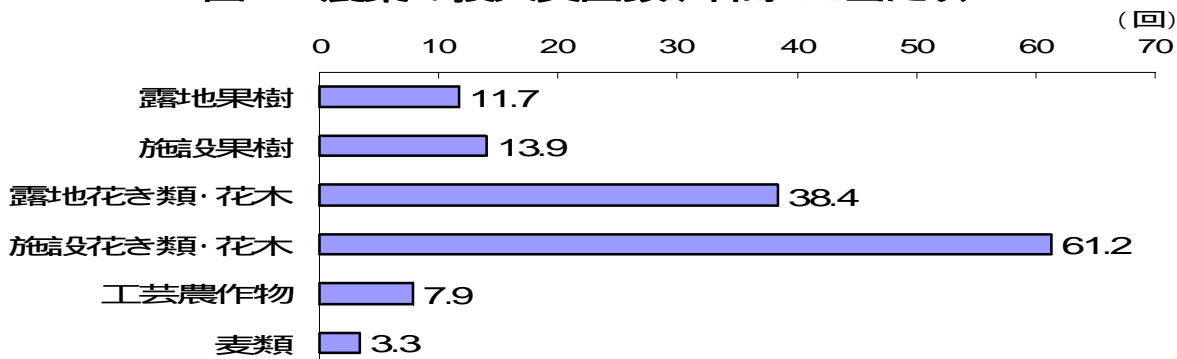


図11 農薬の投入実回数(年間10a当たり)



#### 4 農薬以外の防除方法を実施した農家の防除種類別割合

農薬以外の防除方法を実施した農家の防除種類別割合は、「機械による除草」を行った割合が麦類で100.0%、露地果樹で89.7%、施設果樹で71.4%となっています。

また、「マルチ栽培」を行った割合は、施設花き類・花木で53.3%と高くなっています。

表5 農薬以外の防除方法を実施した農家の防除種類別割合（複数回答）

単位：%

作 目	機械による除草	対抗植物の利用	被覆栽培	マルチ栽培	有袋栽培	太陽熱消毒
露地野菜	28.2	1.0	10.7	9.1	...	...
施設野菜	6.1	2.4	17.2	30.1	...	...
いも	13.1	-	4.4	23.4	...	...
大豆	69.9	-	0.8	-	...	...
露地果樹	89.7	1.9	5.6	9.8	21.4	-
施設果樹	71.4	3.2	28.6	28.6	38.1	-
露地花き類・花木	48.0	8.0	4.0	48.0	...	4.0
施設花き類・花木	36.7	6.7	33.3	53.3	...	20.0
工芸農作物	65.0	0.8	8.9	45.9	...	0.8
麦	100.0	-	-	-	-	-

#### 5 化学肥料、化学農薬を縮減する栽培方法についての意向

化学肥料、化学農薬をともに地域の慣行の半分以下に縮減する栽培方法についての意向について、「既に取り組んでいる」とした農家数割合は、施設花き類・花木が36.4%と最も高く、次いで施設野菜が34.8%、露地野菜が34.4%となっています。

また、「将来取り組みたい」としたのは、施設野菜が39.2%と最も高く、次いで工芸作物が39.0%、施設果樹が34.3%となっており、施設野菜で肥料、農薬の縮減意向割合が最も高くなっています。

表6 化学肥料、化学農薬をともに地域の慣行の半分以下に縮減する栽培方法についての意向別農家数割合

単位：%

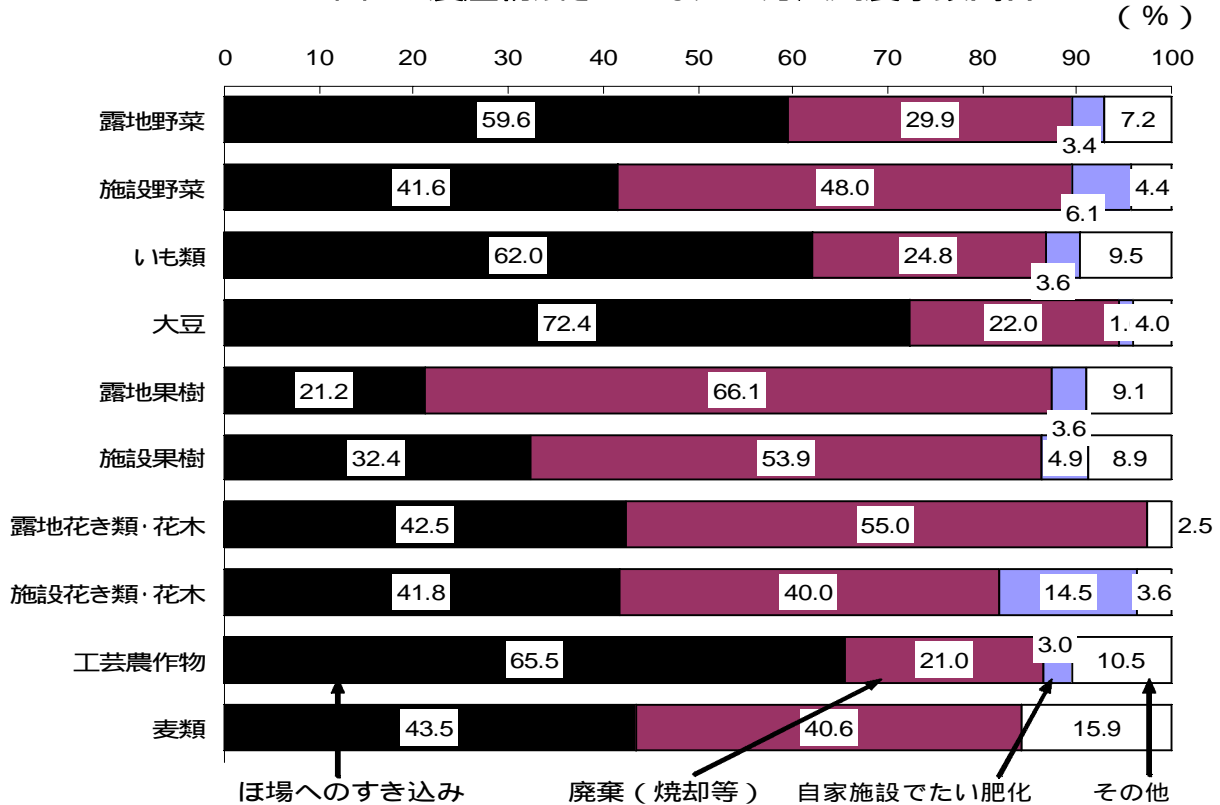
作 目	既に取り組んでいる	将来取り組みたい	取り組む予定はない	その主な理由			
				条件がきびしい	特になんか	関心がない	その他
露地野菜	34.4	24.5	41.1	12.5	6.2	17.0	5.4
施設野菜	34.8	39.2	26.0	12.2	3.4	7.8	2.7
いも	15.3	27.7	56.9	21.9	5.1	27.0	2.9
大豆	19.5	13.8	66.7	11.4	11.4	30.9	13.0
露地果樹	26.0	25.0	49.0	6.5	8.9	25.0	8.5
施設果樹	26.5	34.3	39.2	8.8	14.7	10.8	4.9
露地花き類・花木	7.5	30.0	62.5	-	17.5	25.0	20.0
施設花き類・花木	36.4	29.1	34.5	3.6	18.2	7.3	5.5
工芸農作物	27.0	39.0	33.9	8.1	6.6	12.3	6.9
麦	7.2	30.4	62.3	11.6	15.9	23.2	11.6

注：『農薬の投入実回数』とは、投入した農薬の製品（製剤）単位ごとに投入回数をカウントし、集計したものです。

## 6 農産物残さの処理方法別農家数割合

農産物残さの主な処理方法別農家数割合をみると、「ほ場へのすき込み」は、大豆で72.4%、工芸農作物で65.5%、いも類で62.0%と高く、「廃棄（焼却等）」は、露地果樹で66.1%、露地花き類・花木で55.0%、「自家施設でたい肥化」は、すべての作目で低い割合となっています。

図12 農産物残さの主な処理方法別農家数割合



## 7 エコファーマー認定の意向

エコファーマー認定の意向について、「既に認定を受けている」とした農家数割合は、施設野菜が23.3%と最も高く、次いで工芸農作物が10.8%、露地果樹が10.2%となっています。

また、「将来認定を受けたい」とした農家数割合は、施設果樹が41.2%ともっと高く次いで、施設野菜が38.9%、施設花き類・花木が36.4%となっています。

なお、「認定を受ける予定はない」とした農家数割合は、施設野菜以外の各作目で50%を超えています。

表7 エコファーマー認定の意向別農家数割合

作 目	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	認定を受ける予定はない	その主な理由			
				条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
露地野菜	9.2	26.4	64.4	13.2	9.6	34.4	7.2
施設野菜	23.3	38.9	37.8	8.8	6.8	16.2	6.1
いも類	3.6	22.6	73.7	16.8	8.0	41.6	7.3
大豆	2.4	17.9	79.7	8.9	8.1	45.5	17.1
露地果樹	10.2	21.2	68.6	7.4	13.4	32.8	14.9
施設果樹	7.8	41.2	51.0	20.6	7.8	16.7	5.9
露地花き類・花木	-	15.0	85.0	10.0	30.0	32.5	12.5
施設花き類・花木	3.6	36.4	60.0	5.5	20.0	20.0	14.5
工芸農作物	10.8	34.8	54.4	10.5	10.5	21.6	11.7
麦類	-	24.6	75.4	14.5	10.1	40.6	10.1

# 【統計表】

## 1 有機質資材の投入量

### (1) 1作10a当たり

#### (ア) 露地野菜

単位：kg

区分	有機質資材 の投入量	投入した有機質資材								
		動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	たい肥					
					計	家畜ふん尿 たい肥	都市ゴミコン ポスト(生ゴミ 等のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥	
全 国	1 111.0	14.0	43.2	21.2	1 032.5	939.4	11.5	8.2	73.3	
九 州	1 332.9	9.3	29.4	13.7	1 280.5	1 212.1	4.4	9.9	54.1	

#### (イ) 施設野菜

単位：kg

区分	有機質資材 の投入量	投入した有機質資材								
		動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	たい肥					
					計	家畜ふん尿 たい肥	都市ゴミコン ポスト(生ゴミ 等のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥	
全 国	1 856.8	52.9	80.5	72.0	1 651.5	1 308.9	8.0	11.6	323.0	
九 州	2 213.7	38.2	78.7	51.4	2 045.3	1 579.8	11.4	12.9	441.2	

#### (ウ) いも類

単位：kg

区分	有機質資材 の投入量	投入した有機質資材								
		動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	たい肥					
					計	家畜ふん尿 たい肥	都市ゴミコン ポスト(生ゴミ 等のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥	
全 国	493.9	2.8	12.3	4.9	473.8	441.5	4.8	0.1	27.4	
九 州	600.2	0.2	6.1	1.8	592.1	577.0	-	-	15.2	

#### (エ) 大豆

単位：kg

区分	有機質資材 の投入量	投入した有機質資材								
		動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	たい肥					
					計	家畜ふん尿 たい肥	都市ゴミコン ポスト(生ゴミ 等のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥	
全 国	228.6	1.8	1.3	0.1	225.4	215.1	0.1	0.1	10.0	
九 州	69.5	-	-	-	69.5	69.0	-	0.5	-	

## (2) 年間10a当たり

## (ア) 露地果樹

単位: kg

区 分	有機質資材 の投入量	投 入 し た 有 機 質 資 材								
		動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	た い 肥					
					計	家畜ふん尿 たい肥	都市ゴミコン ポスト(生ゴミ 等のたい肥)	汚 泥 コンポスト	バ ー ク たい肥	
全 国	386.9	14.7	26.5	8.6	337.1	281.8	3.7	11.8	39.8	
九 州	353.1	11.5	21.7	7.8	312.0	277.4	0.1	0.2	34.3	

## (イ) 施設果樹

単位: kg

区 分	有機質資材 の投入量	投 入 し た 有 機 質 資 材								
		動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	た い 肥					
					計	家畜ふん尿 たい肥	都市ゴミコン ポスト(生ゴミ 等のたい肥)	汚 泥 コンポスト	バ ー ク たい肥	
全 国	840.6	18.9	67.0	8.8	746.0	585.0	2.0	1.4	157.5	
九 州	876.6	29.2	79.5	18.1	749.7	630.8	-	-	118.9	

## (ウ) 露地花き類・花木

単位: kg

区 分	有機質資材 の投入量	投 入 し た 有 機 質 資 材								
		動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	た い 肥					
					計	家畜ふん尿 たい肥	都市ゴミコン ポスト(生ゴミ 等のたい肥)	汚 泥 コンポスト	バ ー ク たい肥	
全 国	1 032.0	16.0	56.0	9.8	950.2	758.4	75.0	8.2	108.5	
九 州	1 161.4	7.1	52.9	17.5	1 083.9	973.9	-	-	110.0	

## (エ) 施設花き類・花木

単位: kg

区 分	有機質資材 の投入量	投 入 し た 有 機 質 資 材								
		動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	た い 肥					
					計	家畜ふん尿 たい肥	都市ゴミコン ポスト(生ゴミ 等のたい肥)	汚 泥 コンポスト	バ ー ク たい肥	
全 国	1 491.1	27.7	108.9	24.1	1 330.4	955.8	23.4	8.2	343.0	
九 州	1 597.2	40.7	63.6	39.7	1 453.3	1 206.4	3.6	-	243.2	

## (オ) 工芸農作物

単位: kg

区 分	有機質資材 の投入量	投 入 し た 有 機 質 資 材								
		動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	た い 肥					
					計	家畜ふん尿 たい肥	都市ゴミコン ポスト(生ゴミ 等のたい肥)	汚 泥 コンポスト	バ ー ク たい肥	
全 国	827.0	20.7	50.3	8.1	747.8	602.2	1.5	1.5	142.7	
九 州	582.0	21.1	76.5	13.1	471.3	389.0	-	2.8	79.5	

## (カ) 麦 類

単位: kg

区 分	有機質資材 の投入量	投 入 し た 有 機 質 資 材								
		動物質肥料	植物質肥料	ぼかし肥	た い 肥					
					計	家畜ふん尿 たい肥	都市ゴミコン ポスト(生ゴミ 等のたい肥)	汚 泥 コンポスト	バ ー ク たい肥	
全 国	287.9	1.4	0.4	-	286.1	258.3	9.7	4.0	14.1	
九 州	99.4	-	2.2	-	97.2	97.2	-	-	-	

## 2 有機質資材を投入した農家数割合（複数回答）

### (1) 露地野菜

単位：％

区分	有機質 資材を 投入	投入した有機質資材								その他の 有機質 資材を 利用した	その他の有機質資材の種類		
		動物質 肥料	植物質 肥料	ぼかし肥	たい肥	たい肥の種類			前作に 緑肥を 作付け		農産物 残さの すき込み	その他の 有機質 資材	
						家畜 ふん尿 たい肥	都市ゴミ コンポスト (生ゴミ等 のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥				
全 国	89.8	10.3	23.9	6.6	66.7	59.7	1.3	1.1	7.1	48.5	14.2	35.6	5.5
九 州	89.6	5.3	13.9	5.1	75.0	72.4	0.7	0.5	3.4	46.7	16.0	34.2	3.3

### (2) 施設野菜

単位：％

区分	有機質 資材を 投入	投入した有機質資材								その他の 有機質 資材を 利用した	その他の有機質資材の種類		
		動物質 肥料	植物質 肥料	ぼかし肥	たい肥	たい肥の種類			前作に 緑肥を 作付け		農産物 残さの すき込み	その他の 有機質 資材	
						家畜 ふん尿 たい肥	都市ゴミ コンポスト (生ゴミ等 のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥				
全 国	95.1	29.1	35.8	22.6	72.3	54.6	1.0	2.1	19.3	46.7	8.9	33.5	11.3
九 州	97.0	23.1	33.4	19.6	81.7	61.9	0.8	1.8	21.3	52.0	18.4	38.5	7.6

### (3) いも類

単位：％

区分	有機質 資材を 投入	投入した有機質資材								その他の 有機質 資材を 利用した	その他の有機質資材の種類		
		動物質 肥料	植物質 肥料	ぼかし肥	たい肥	たい肥の種類			前作に 緑肥を 作付け		農産物 残さの すき込み	その他の 有機質 資材	
						家畜 ふん尿 たい肥	都市ゴミ コンポスト (生ゴミ等 のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥				
全 国	76.7	3.6	13.1	2.1	45.6	42.0	1.3	0.2	3.2	48.4	12.2	37.7	5.8
九 州	81.8	0.7	9.5	2.2	65.7	63.5	-	-	2.2	43.8	10.2	34.3	2.9

### (4) 大豆

単位：％

区分	有機質 資材を 投入	投入した有機質資材								その他の 有機質 資材を 利用した	その他の有機質資材の種類		
		動物質 肥料	植物質 肥料	ぼかし肥	たい肥	たい肥の種類			前作に 緑肥を 作付け		農産物 残さの すき込み	その他の 有機質 資材	
						家畜 ふん尿 たい肥	都市ゴミ コンポスト (生ゴミ等 のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥				
全 国	60.3	1.9	2.2	0.5	21.1	19.1	0.2	0.3	1.5	46.3	4.0	43.1	1.9
九 州	35.8	-	0.0	-	11.4	10.6	-	0.8	0.0	30.9	1.6	28.5	0.8

(5) 露地果樹

単位：％

区分	有機質 資材を 投入	投入した有機質資材									その他の有機質資材の種類			
		動物質 肥料	植物質 肥料	ぼかし肥	たい肥	たい肥の種類				その他の 有機質を 利用した	前作に 緑肥を 作付け	農産物 残さの すき込み	その他の 有機質 資材	
						家畜 ふん尿 たい肥	都市ゴミ コンポスト (生ゴミ等 のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥					
全 国	69.3	11.6	19.4	3.7	45.5	39.3	1.2	1.0	5.6	28.3	1.9	19.4	9.0	
九 州	69.1	9.4	19.4	5.4	49.0	43.9	0.4	0.4	5.3	22.0	2.5	13.8	6.9	

(6) 施設果樹

単位：％

区分	有機質 資材を 投入	投入した有機質資材									その他の有機質資材の種類			
		動物質 肥料	植物質 肥料	ぼかし肥	たい肥	たい肥の種類				その他の 有機質を 利用した	前作に 緑肥を 作付け	農産物 残さの すき込み	その他の 有機質 資材	
						家畜 ふん尿 たい肥	都市ゴミ コンポスト (生ゴミ等 のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥					
全 国	83.5	21.3	32.4	8.7	52.9	36.9	0.6	0.9	17.1	29.7	0.6	20.7	9.6	
九 州	84.3	23.5	30.4	9.8	49.0	35.3	-	-	13.7	33.3	-	23.5	10.8	

(7) 露地花き類・花木

単位：％

区分	有機質 資材を 投入	投入した有機質資材									その他の有機質資材の種類			
		動物質 肥料	植物質 肥料	ぼかし肥	たい肥	たい肥の種類				その他の 有機質を 利用した	前作に 緑肥を 作付け	農産物 残さの すき込み	その他の 有機質 資材	
						家畜 ふん尿 たい肥	都市ゴミ コンポスト (生ゴミ等 のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥					
全 国	78.2	10.1	31.2	4.9	54.9	44.8	2.6	1.6	12.3	37.7	7.8	28.6	6.5	
九 州	85.0	5.0	47.5	7.5	65.0	57.5	-	-	10.0	25.0	17.5	12.5	-	

(8) 施設花き類・花木

単位：％

区分	有機質 資材を 投入	投入した有機質資材									その他の有機質資材の種類			
		動物質 肥料	植物質 肥料	ぼかし肥	たい肥	たい肥の種類				その他の 有機質を 利用した	前作に 緑肥を 作付け	農産物 残さの すき込み	その他の 有機質 資材	
						家畜 ふん尿 たい肥	都市ゴミ コンポスト (生ゴミ等 のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥					
全 国	79.7	19.5	26.2	8.2	54.7	39.1	1.6	1.2	18.0	34.4	2.3	25.8	10.9	
九 州	87.3	21.8	36.4	12.7	61.8	52.7	1.8	-	12.7	30.9	5.5	27.3	5.5	

(9) 工芸農作物

単位：％

区分	有機質 資材を 投入	投入した有機質資材									その他の有機質資材の種類			
		動物質 肥料	植物質 肥料	ぼかし肥	たい肥	たい肥の種類				その他の 有機質を 利用した	前作に 緑肥を 作付け	農産物 残さの すき込み	その他の 有機質 資材	
						家畜 ふん尿 たい肥	都市ゴミ コンポスト (生ゴミ等 のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥					
全 国	87.5	11.8	40.3	4.5	45.7	36.9	0.3	0.6	9.8	54.6	10.8	42.5	11.7	
九 州	98.2	15.9	56.8	6.0	53.8	42.3	-	0.3	13.5	59.8	5.7	49.5	13.5	

(10) 麦 類

単位：％

区分	有機質 資材を 投入	投入した有機質資材									その他の有機質資材の種類			
		動物質 肥料	植物質 肥料	ぼかし肥	たい肥	たい肥の種類				その他の 有機質を 利用した	前作に 緑肥を 作付け	農産物 残さの すき込み	その他の 有機質 資材	
						家畜 ふん尿 たい肥	都市ゴミ コンポスト (生ゴミ等 のたい肥)	汚泥 コンポスト	パーク たい肥					
全 国	72.4	1.3	0.8	-	21.0	18.8	0.5	1.1	0.8	62.3	8.5	56.0	0.8	
九 州	65.2	-	1.4	-	17.4	17.4	-	-	-	56.5	-	56.5	-	

### 3 たい肥（コンポスト）の主な入手方法別農家数割合

#### (1) 露地野菜

単位：%

区 分	計	自家生産	購 入					無 償 で 譲 り 受 け				
			小 計	た い 肥 センター 等の共同 利用施設	農 協 ・ 資 材 販 売 店	畜 産 農 家 等 の 家 畜 飼 養 者	そ の 他	小 計	た い 肥 センター 等の共同 利用施設	畜 産 農 家 等 の 家 畜 飼 養 者	そ の 他	
全 国	100.0	10.7	77.9	7.2	35.6	33.8	1.3	11.4	0.6	10.1	0.7	
九 州	100.0	13.6	75.5	10.8	31.9	31.9	0.9	10.8	1.2	9.4	0.2	

#### (2) 施設野菜

単位：%

区 分	計	自家生産	購 入					無 償 で 譲 り 受 け				
			小 計	た い 肥 センター 等の共同 利用施設	農 協 ・ 資 材 販 売 店	畜 産 農 家 等 の 家 畜 飼 養 者	そ の 他	小 計	た い 肥 センター 等の共同 利用施設	畜 産 農 家 等 の 家 畜 飼 養 者	そ の 他	
全 国	100.0	11.2	82.5	10.7	41.5	28.8	1.5	6.3	-	5.8	0.5	
九 州	100.0	11.4	84.3	19.1	35.6	29.7	-	4.2	-	4.2	-	

#### (3) いも類

単位：%

区 分	計	自家生産	購 入					無 償 で 譲 り 受 け				
			小 計	た い 肥 センター 等の共同 利用施設	農 協 ・ 資 材 販 売 店	畜 産 農 家 等 の 家 畜 飼 養 者	そ の 他	小 計	た い 肥 センター 等の共同 利用施設	畜 産 農 家 等 の 家 畜 飼 養 者	そ の 他	
全 国	100.0	21.8	64.6	6.2	31.3	27.2	-	13.6	1.2	11.9	0.4	
九 州	100.0	18.9	74.4	12.2	36.7	25.6	-	6.7	1.1	5.6	-	

#### (4) 大 豆

単位：%

区 分	計	自家生産	購 入					無 償 で 譲 り 受 け				
			小 計	た い 肥 センター 等の共同 利用施設	農 協 ・ 資 材 販 売 店	畜 産 農 家 等 の 家 畜 飼 養 者	そ の 他	小 計	た い 肥 センター 等の共同 利用施設	畜 産 農 家 等 の 家 畜 飼 養 者	そ の 他	
全 国	100.0	18.2	57.7	9.5	24.8	21.2	2.2	24.1	0.7	21.9	1.5	
九 州	100.0	21.4	50.0	7.1	14.3	21.4	7.1	28.6	-	28.6	-	

## (5) 露地果樹

単位：％

区 分	計	自家生産	購 入					無 償 で 譲 り 受 け				
			小 計	た い 肥 センター 等利用施設	農 協 ・ 資 材 販 売 店	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	小 計	た い 肥 センター 等利用施設	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	
全 国	100.0	10.6	77.7	6.0	37.0	32.8	1.9	11.7	0.6	9.7	1.4	
九 州	100.0	10.3	78.3	7.7	29.0	39.3	2.2	11.4	0.4	9.9	1.1	

## (6) 施設果樹

単位：％

区 分	計	自家生産	購 入					無 償 で 譲 り 受 け				
			小 計	た い 肥 センター 等利用施設	農 協 ・ 資 材 販 売 店	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	小 計	た い 肥 センター 等利用施設	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	
全 国	100.0	7.8	84.4	7.8	46.9	28.5	1.1	7.8	1.1	6.1	0.6	
九 州	100.0	7.8	88.2	11.8	37.3	39.2	-	3.9	-	3.9	-	

## (7) 露地花き類・花木

単位：％

区 分	計	自家生産	購 入					無 償 で 譲 り 受 け				
			小 計	た い 肥 センター 等利用施設	農 協 ・ 資 材 販 売 店	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	小 計	た い 肥 センター 等利用施設	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	
全 国	100.0	5.8	80.9	6.4	42.2	31.2	1.2	13.3	1.2	9.2	2.9	
九 州	100.0	-	88.9	18.5	44.4	25.9	-	11.1	-	7.4	3.7	

## (8) 施設花き類・花木

単位：％

区 分	計	自家生産	購 入					無 償 で 譲 り 受 け				
			小 計	た い 肥 センター 等利用施設	農 協 ・ 資 材 販 売 店	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	小 計	た い 肥 センター 等利用施設	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	
全 国	100.0	8.0	86.0	11.3	44.0	28.7	2.0	6.0	2.0	4.0	-	
九 州	100.0	8.3	86.1	19.4	41.7	25.0	-	5.6	-	5.6	-	

## (9) 工芸農作物

単位：％

区 分	計	自家生産	購 入					無 償 で 譲 り 受 け				
			小 計	た い 肥 センター 等利用施設	農 協 ・ 資 材 販 売 店	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	小 計	た い 肥 センター 等利用施設	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	
全 国	100.0	18.9	67.4	11.2	22.7	29.7	4.0	13.7	0.9	11.9	0.9	
九 州	100.0	21.9	68.5	10.1	25.3	29.8	3.4	9.6	1.7	7.3	0.6	

## (10) 麦 類

単位：％

区 分	計	自家生産	購 入					無 償 で 譲 り 受 け				
			小 計	た い 肥 センター 等利用施設	農 協 ・ 資 材 販 売 店	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	小 計	た い 肥 センター 等利用施設	畜 産 農 家 等の家畜 飼 養 者	そ の 他	
全 国	100.0	27.1	37.6	4.7	10.6	21.2	1.2	35.3	-	34.1	1.2	
九 州	100.0	50.0	8.3	-	-	8.3	-	41.7	-	41.7	-	

#### 4 化学肥料の種類別投入量

##### (1) 1作10a当たり

##### (ア) 露地野菜

単位：kg

区 分	合 計	単 肥			計	複 合 肥 料				
		窒 素 質 料 肥 料	リン酸質料 肥 料	加里質料 肥 料		化 成 肥 料			配合肥料	そ の 他
						小 計	普通化成	高度化成		
全 国	185.6	9.8	15.3	1.4	159.2	121.3	34.5	86.8	31.6	6.3
九 州	144.2	6.7	8.1	0.6	128.8	82.8	16.1	66.7	39.5	6.6

##### (イ) 施設野菜

単位：kg

区 分	合 計	単 肥			計	複 合 肥 料				
		窒 素 質 料 肥 料	リン酸質料 肥 料	加里質料 肥 料		化 成 肥 料			配合肥料	そ の 他
						小 計	普通化成	高度化成		
全 国	284.4	5.3	18.4	5.6	255.1	100.8	63.1	37.8	95.2	59.1
九 州	238.5	4.6	15.0	2.9	215.9	93.4	70.8	22.7	84.1	38.4

##### (ウ) いも類

単位：kg

区 分	合 計	単 肥			計	複 合 肥 料				
		窒 素 質 料 肥 料	リン酸質料 肥 料	加里質料 肥 料		化 成 肥 料			配合肥料	そ の 他
						小 計	普通化成	高度化成		
全 国	122.5	2.6	9.0	2.2	108.6	66.8	15.2	51.6	40.7	1.1
九 州	123.6	1.8	13.2	2.2	106.5	49.0	10.5	38.5	54.6	2.9

##### (エ) 大 豆

単位：kg

区 分	合 計	単 肥			計	複 合 肥 料				
		窒 素 質 料 肥 料	リン酸質料 肥 料	加里質料 肥 料		化 成 肥 料			配合肥料	そ の 他
						小 計	普通化成	高度化成		
全 国	37.5	2.5	5.9	0.2	28.9	21.8	3.4	18.5	6.8	0.3
九 州	9.1	0.4	1.4	-	7.3	6.8	2.1	4.7	0.5	-

## (2) 年間10a当たり

## (ア) 露地果樹

単位：kg

区 分	合 計	単 肥			計	複 合 肥 料				
		窒 素 質 料 肥 料	いん酸質料 肥 料	加 里 質 料 肥 料		化 成 肥 料			配 合 肥 料	そ の 他
						小 計	普通化成	高度化成		
全 国	127.0	3.5	5.2	0.9	117.4	54.5	32.1	22.4	51.7	11.2
九 州	132.1	1.7	3.3	0.1	126.9	39.9	25.2	14.7	72.7	14.3

## (イ) 施設果樹

単位：kg

区 分	合 計	単 肥			計	複 合 肥 料				
		窒 素 質 料 肥 料	いん酸質料 肥 料	加 里 質 料 肥 料		化 成 肥 料			配 合 肥 料	そ の 他
						小 計	普通化成	高度化成		
全 国	129.5	3.8	8.1	1.8	115.7	45.7	35.3	10.5	56.7	13.3
九 州	170.9	5.8	8.7	0.7	155.8	31.1	26.1	5.0	95.2	29.4

## (ウ) 露地花き類・花木

単位：kg

区 分	合 計	単 肥			計	複 合 肥 料				
		窒 素 質 料 肥 料	いん酸質料 肥 料	加 里 質 料 肥 料		化 成 肥 料			配 合 肥 料	そ の 他
						小 計	普通化成	高度化成		
全 国	239.1	6.2	16.6	3.4	212.9	153.4	69.3	84.1	30.7	28.8
九 州	139.6	4.0	6.5	0.5	128.7	61.2	37.3	23.9	58.4	9.1

## (エ) 施設花き類・花木

単位：kg

区 分	合 計	単 肥			計	複 合 肥 料				
		窒 素 質 料 肥 料	いん酸質料 肥 料	加 里 質 料 肥 料		化 成 肥 料			配 合 肥 料	そ の 他
						小 計	普通化成	高度化成		
全 国	310.5	12.6	11.9	4.1	281.9	131.2	54.7	76.5	92.8	57.9
九 州	254.8	3.6	8.0	3.7	239.5	81.4	50.6	30.8	80.4	77.6

## (オ) 工芸農作物

単位：kg

区 分	合 計	単 肥			計	複 合 肥 料				
		窒 素 質 料 肥 料	いん酸質料 肥 料	加 里 質 料 肥 料		化 成 肥 料			配 合 肥 料	そ の 他
						小 計	普通化成	高度化成		
全 国	230.3	14.8	6.6	2.2	206.7	104.9	30.7	74.1	96.5	5.3
九 州	237.1	26.9	13.6	4.2	192.4	46.6	15.0	31.5	141.5	4.3

## (カ) 麦 類

単位：kg

区 分	合 計	単 肥			計	複 合 肥 料				
		窒 素 質 料 肥 料	いん酸質料 肥 料	加 里 質 料 肥 料		化 成 肥 料			配 合 肥 料	そ の 他
						小 計	普通化成	高度化成		
全 国	89.9	14.8	4.2	0.6	70.3	34.6	1.5	33.1	35.5	0.1
九 州	64.3	1.9	-	-	62.5	37.8	0.6	37.2	24.7	-

5 化学肥料の10a当たり成分換算投入量（窒素、りん酸、加里）

(1) 1作10a当たり

(ア) 露地野菜

単位：kg

区 分	窒 素				り ん 酸				加 里			
	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他
全 国	20.8	14.3	6.4	0.1	21.2	17.2	3.9	0.1	17.4	12.2	5.1	0.0
九 州	17.7	12.6	5.0	0.1	16.2	13.7	2.4	0.1	15.1	10.9	4.1	0.1

(イ) 施設野菜

単位：kg

区 分	窒 素				り ん 酸				加 里			
	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他
全 国	26.1	16.2	9.5	0.4	25.1	18.6	6.0	0.4	20.5	13.9	6.2	0.4
九 州	21.8	15.1	6.5	0.2	20.0	14.5	5.2	0.2	14.8	9.5	5.1	0.2

(ウ) いも類

単位：kg

区 分	窒 素				り ん 酸				加 里			
	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他
全 国	9.9	8.8	1.1	0.0	19.9	19.2	0.7	0.0	13.4	12.4	1.0	0.0
九 州	11.1	9.7	1.4	0.0	15.4	15.0	0.3	0.0	16.5	15.0	1.4	0.0

(エ) 大 豆

単位：kg

区 分	窒 素				り ん 酸				加 里			
	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他
全 国	2.8	2.0	0.9	0.0	6.3	5.8	0.2	0.2	4.2	3.9	0.3	-
九 州	0.6	0.4	0.1	0.0	1.2	1.2	0.0	-	1.1	1.0	0.0	-

## (2) 年間10a当たり

## (ア) 露地果樹

単位: kg

区 分	窒 素				り ん 酸				加 里			
	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他
全 国	11.7	7.4	3.5	0.8	10.5	7.0	2.6	0.9	8.8	5.4	2.5	0.9
九 州	12.2	7.1	3.5	1.6	11.5	7.5	3.2	0.8	8.6	5.0	2.5	1.0

## (イ) 施設果樹

単位: kg

区 分	窒 素				り ん 酸				加 里			
	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他
全 国	12.0	7.2	4.4	0.3	11.0	8.1	2.6	0.3	7.3	4.8	2.3	0.2
九 州	19.7	8.6	10.5	0.7	16.2	10.9	4.7	0.6	8.7	5.1	3.2	0.3

## (ウ) 露地花き類・花木

単位: kg

区 分	窒 素				り ん 酸				加 里			
	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他
全 国	22.5	13.7	8.6	0.2	24.0	16.1	7.6	0.2	19.4	12.3	6.9	0.1
九 州	11.1	6.5	4.7	0.0	13.2	9.3	4.0	0.0	11.3	6.9	4.4	0.0

## (エ) 施設花き類・花木

単位: kg

区 分	窒 素				り ん 酸				加 里			
	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他
全 国	30.4	19.2	11.0	0.2	29.2	20.1	9.0	0.2	29.4	17.6	11.5	0.3
九 州	21.9	12.6	9.2	0.1	20.2	13.0	7.1	0.1	20.9	10.3	10.6	0.1

## (オ) 工芸農作物

単位: kg

区 分	窒 素				り ん 酸				加 里			
	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他
全 国	26.1	15.4	10.4	0.4	24.0	19.6	3.9	0.4	18.8	13.8	4.8	0.2
九 州	28.0	15.0	12.8	0.2	18.6	15.2	3.2	0.2	17.0	12.6	4.3	0.1

## (カ) 麦 類

単位: kg

区 分	窒 素				り ん 酸				加 里			
	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他	計	基肥	追肥	その他
全 国	11.4	6.4	4.9	0.1	13.5	12.5	0.9	0.1	8.9	7.2	1.7	0.0
九 州	9.2	6.0	2.8	0.4	8.1	7.1	1.0	-	8.8	6.1	2.6	0.1

## 6 肥効調節型肥料の使用と局所施肥の実施農家数割合（複数回答）

### (1) 露地野菜

単位：％

区 分	肥効調節型肥料を使用した	使用した肥効調節型肥料の種類			局所施肥を実施した
		被覆(コーティング)肥料	化学合成緩効性肥料	硝酸化成抑制剤入り窒素肥料	
全 国	20.5	5.9	12.4	3.6	20.3
九 州	18.3	10.5	7.4	0.8	22.2

### (2) 施設野菜

単位：％

区 分	肥効調節型肥料を使用した	使用した肥効調節型肥料の種類			局所施肥を実施した
		被覆(コーティング)肥料	化学合成緩効性肥料	硝酸化成抑制剤入り窒素肥料	
全 国	31.9	15.7	17.2	1.4	25.9
九 州	37.9	16.8	22.4	1.8	31.9

### (3) いも類

単位：％

区 分	肥効調節型肥料を使用した	使用した肥効調節型肥料の種類			局所施肥を実施した
		被覆(コーティング)肥料	化学合成緩効性肥料	硝酸化成抑制剤入り窒素肥料	
全 国	5.6	2.1	2.3	1.3	17.3
九 州	10.2	6.6	2.2	1.5	24.1

### (4) 大豆

単位：％

区 分	肥効調節型肥料を使用した	使用した肥効調節型肥料の種類			局所施肥を実施した
		被覆(コーティング)肥料	化学合成緩効性肥料	硝酸化成抑制剤入り窒素肥料	
全 国	8.8	4.8	4.2	0.6	12.8
九 州	0.8	-	0.8	-	4.9

## (5) 露地果樹

単位：%

区 分	肥効調節型 肥料を 使用した	使用した肥効調節型肥料の種類			局所施肥を 実施した
		被覆(コーティング) 肥料	化学合成 緩効性肥料	硝酸化成抑制剤 入り窒素肥料	
全 国	6.2	1.5	4.5	0.5	13.2
九 州	7.1	2.9	4.5	-	18.0

## (6) 施設果樹

単位：%

区 分	肥効調節型 肥料を 使用した	使用した肥効調節型肥料の種類			局所施肥を 実施した
		被覆(コーティング) 肥料	化学合成 緩効性肥料	硝酸化成抑制剤 入り窒素肥料	
全 国	3.6	1.2	2.1	0.3	10.2
九 州	2.0	-	2.0	-	9.8

## (7) 露地花き類・花木

単位：%

区 分	肥効調節型 肥料を 使用した	使用した肥効調節型肥料の種類			局所施肥を 実施した
		被覆(コーティング) 肥料	化学合成 緩効性肥料	硝酸化成抑制剤 入り窒素肥料	
全 国	26.9	10.4	19.2	2.9	20.5
九 州	20.0	10.0	17.5	-	17.5

## (8) 施設花き類・花木

単位：%

区 分	肥効調節型 肥料を 使用した	使用した肥効調節型肥料の種類			局所施肥を 実施した
		被覆(コーティング) 肥料	化学合成 緩効性肥料	硝酸化成抑制剤 入り窒素肥料	
全 国	34.4	15.2	23.4	1.6	21.9
九 州	29.1	12.7	18.2	-	18.2

## (9) 工芸農作物

単位：%

区 分	肥効調節型 肥料を 使用した	使用した肥効調節型肥料の種類			局所施肥を 実施した
		被覆(コーティング) 肥料	化学合成 緩効性肥料	硝酸化成抑制剤 入り窒素肥料	
全 国	19.1	9.2	8.4	3.6	33.5
九 州	21.0	14.4	5.1	1.5	34.8

## (10) 麦 類

単位：%

区 分	肥効調節型 肥料を 使用した	使用した肥効調節型肥料の種類			局所施肥を 実施した
		被覆(コーティング) 肥料	化学合成 緩効性肥料	硝酸化成抑制剤 入り窒素肥料	
全 国	5.8	2.4	3.4	0.8	13.3
九 州	7.2	4.3	-	2.9	14.5

## 7 農薬の種類別投入実回数

### (1) 1作10a当たり

#### (ア) 露地野菜

単位：回

区 分	計	殺 虫 剤	殺 菌 剤	殺虫殺菌剤	除 草 剤	植 物 成 長 調 整 剤	そ の 他 の 化 学 農 薬
全 国	7.6	3.8	3.0	0.0	0.6	0.1	0.0
九 州	5.9	3.2	2.1	0.0	0.5	0.2	0.0

#### (イ) 施設野菜

単位：回

区 分	計	殺 虫 剤	殺 菌 剤	殺虫殺菌剤	除 草 剤	植 物 成 長 調 整 剤	そ の 他 の 化 学 農 薬
全 国	18.5	7.5	8.5	0.1	0.5	1.8	0.0
九 州	20.0	8.4	9.6	0.0	0.6	1.3	0.0

#### (ウ) いも類

単位：回

区 分	計	殺 虫 剤	殺 菌 剤	殺虫殺菌剤	除 草 剤	植 物 成 長 調 整 剤	そ の 他 の 化 学 農 薬
全 国	7.6	2.8	3.9	0.0	0.7	0.2	0.0
九 州	3.9	2.3	0.9	0.0	0.7	-	-

#### (エ) 大 豆

単位：回

区 分	計	殺 虫 剤	殺 菌 剤	殺虫殺菌剤	除 草 剤	植 物 成 長 調 整 剤	そ の 他 の 化 学 農 薬
全 国	4.0	1.8	0.6	0.4	1.0	0.0	0.3
九 州	3.9	2.3	0.4	0.1	0.6	-	0.5

## (2) 年間10a当たり

## (ア) 露地果樹

単位：回

区 分	計	殺 虫 剤	殺 菌 剤	殺虫殺菌剤	除 草 剤	植 物 成 長 調 整 剤	そ の 他 の 化 学 農 薬
全 国	14.7	6.1	6.9	0.1	1.1	0.4	0.2
九 州	11.7	4.6	5.5	0.0	1.2	0.3	0.1

## (イ) 施設果樹

単位：回

区 分	計	殺 虫 剤	殺 菌 剤	殺虫殺菌剤	除 草 剤	植 物 成 長 調 整 剤	そ の 他 の 化 学 農 薬
全 国	12.3	5.5	4.0	0.0	1.2	1.5	0.0
九 州	13.9	7.3	4.2	0.0	1.0	1.3	0.1

## (ウ) 露地花き類・花木

単位：回

区 分	計	殺 虫 剤	殺 菌 剤	殺虫殺菌剤	除 草 剤	植 物 成 長 調 整 剤	そ の 他 の 化 学 農 薬
全 国	28.9	14.7	10.1	0.0	3.4	0.6	0.0
九 州	38.4	19.9	14.4	-	3.5	0.7	-

## (エ) 施設花き類・花木

単位：回

区 分	計	殺 虫 剤	殺 菌 剤	殺虫殺菌剤	除 草 剤	植 物 成 長 調 整 剤	そ の 他 の 化 学 農 薬
全 国	48.2	25.3	16.5	0.2	3.3	2.7	0.2
九 州	61.2	35.7	18.7	0.3	3.1	3.3	0.2

## (オ) 工芸農作物

単位：回

区 分	計	殺 虫 剤	殺 菌 剤	殺虫殺菌剤	除 草 剤	植 物 成 長 調 整 剤	そ の 他 の 化 学 農 薬
全 国	9.7	3.9	3.5	0.1	1.7	0.4	0.0
九 州	7.9	3.5	2.0	0.0	1.3	1.0	0.1

## (カ) 麦 類

単位：回

区 分	計	殺 虫 剤	殺 菌 剤	殺虫殺菌剤	除 草 剤	植 物 成 長 調 整 剤	そ の 他 の 化 学 農 薬
全 国	5.1	0.6	3.1	0.0	1.4	0.0	0.0
九 州	3.3	0.2	1.7	0.0	1.3	-	0.0

8 農薬以外の防除方法を実施した農家の防除種類別割合（複数回答）

(1) 露地野菜

単位：%

区 分	農薬以外の防除方法を実施した	農 薬 以 外 の 防 除 方 法 の 種 類					
		機 械 に よ る 除 草	対 抗 植 物 の 利 用	被 覆 栽 培	マ ル チ 栽 培	有 袋 栽 培	太 陽 熱 消 毒
全 国	37.2	24.2	1.2	12.4	3.5	-	-
九 州	43.7	28.2	1.0	10.7	9.1	-	-

(2) 施設野菜

単位：%

区 分	農薬以外の防除方法を実施した	農 薬 以 外 の 防 除 方 法 の 種 類					
		機 械 に よ る 除 草	対 抗 植 物 の 利 用	被 覆 栽 培	マ ル チ 栽 培	有 袋 栽 培	太 陽 熱 消 毒
全 国	33.1	6.9	1.6	14.4	15.9	-	-
九 州	47.5	6.1	2.4	17.2	30.1	-	-

(3) いも類

単位：%

区 分	農薬以外の防除方法を実施した	農 薬 以 外 の 防 除 方 法 の 種 類					
		機 械 に よ る 除 草	対 抗 植 物 の 利 用	被 覆 栽 培	マ ル チ 栽 培	有 袋 栽 培	太 陽 熱 消 毒
全 国	39.2	31.1	0.2	2.6	6.4	-	-
九 州	38.0	13.1	-	4.4	23.4	-	-

(4) 大 豆

単位：%

区 分	農薬以外の防除方法を実施した	農 薬 以 外 の 防 除 方 法 の 種 類					
		機 械 に よ る 除 草	対 抗 植 物 の 利 用	被 覆 栽 培	マ ル チ 栽 培	有 袋 栽 培	太 陽 熱 消 毒
全 国	70.4	70.1	0.2	0.6	-	-	-
九 州	70.7	69.9	-	0.8	-	-	-

## (5) 露地果樹

単位：%

区分	農薬以外の 防除方法を 実施した	農薬以外の防除方法の種類					
		機械による 除草	対抗植物の 利用	被覆栽培	マルチ栽培	有袋栽培	太陽熱消毒
全 国	100.0	92.7	1.8	4.0	4.4	22.3	0.1
九 州	100.0	89.7	1.9	5.6	9.8	21.4	-

## (6) 施設果樹

単位：%

区分	農薬以外の 防除方法を 実施した	農薬以外の防除方法の種類					
		機械による 除草	対抗植物の 利用	被覆栽培	マルチ栽培	有袋栽培	太陽熱消毒
全 国	100.0	71.2	0.9	41.9	18.1	29.8	0.5
九 州	100.0	71.4	3.2	28.6	28.6	38.1	-

## (7) 露地花き類・花木

単位：%

区分	農薬以外の 防除方法を 実施した	農薬以外の防除方法の種類				
		機械による 除草	対抗植物の 利用	被覆栽培	マルチ栽培	太陽熱消毒
全 国	100.0	60.6	1.1	6.1	39.4	2.2
九 州	100.0	48.0	8.0	4.0	48.0	4.0

## (8) 施設花き類・花木

単位：%

区分	農薬以外の 防除方法を 実施した	農薬以外の防除方法の種類				
		機械による 除草	対抗植物の 利用	被覆栽培	マルチ栽培	太陽熱消毒
全 国	100.0	31.1	2.9	29.1	53.4	19.4
九 州	100.0	36.7	6.7	33.3	53.3	20.0

## (9) 工芸農作物

単位：%

区分	農薬以外の 防除方法を 実施した	農薬以外の防除方法の種類				
		機械による 除草	対抗植物の 利用	被覆栽培	マルチ栽培	太陽熱消毒
全 国	100.0	67.4	0.5	7.0	45.5	0.7
九 州	100.0	65.0	0.8	8.9	45.9	0.8

## (10) 麦 類

単位：%

区分	農薬以外の 防除方法を 実施した	農薬以外の防除方法の種類				
		機械による 除草	対抗植物の 利用	被覆栽培	マルチ栽培	太陽熱消毒
全 国	100.0	99.0	1.0	-	-	-
九 州	100.0	100.0	-	-	-	-

9 化学肥料、化学農薬をともに地域の慣行の半分以下に縮減する栽培方法についての意向別農家数割合

(1) 露地野菜

単位：%

区 分	計	既に取り組んでいる	将来取り組みたい	取り組む予定はない	そ の 主 な 理 由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
					全 国	100.0	25.3	26.8
九 州	100.0	34.4	24.5	41.1	12.5	6.2	17.0	5.4

(2) 施設野菜

単位：%

区 分	計	既に取り組んでいる	将来取り組みたい	取り組む予定はない	そ の 主 な 理 由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
					全 国	100.0	33.8	32.6
九 州	100.0	34.8	39.2	26.0	12.2	3.4	7.8	2.7

(3) いも類

単位：%

区 分	計	既に取り組んでいる	将来取り組みたい	取り組む予定はない	そ の 主 な 理 由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
					全 国	100.0	19.3	28.0
九 州	100.0	15.3	27.7	56.9	21.9	5.1	27.0	2.9

(4) 大 豆

単位：%

区 分	計	既に取り組んでいる	将来取り組みたい	取り組む予定はない	そ の 主 な 理 由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
					全 国	100.0	17.9	26.9
九 州	100.0	19.5	13.8	66.7	11.4	11.4	30.9	13.0

## (5) 露地果樹

単位：%

区 分	計	既に取り 組んでいる	将来取り 組みたい	取り組む 予定はない	そ の 主 な 理 由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その 他
全 国	100.0	19.9	26.5	53.6	10.3	9.2	24.1	10.1
九 州	100.0	26.0	25.0	49.0	6.5	8.9	25.0	8.5

## (6) 施設果樹

単位：%

区 分	計	既に取り 組んでいる	将来取り 組みたい	取り組む 予定はない	そ の 主 な 理 由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その 他
全 国	100.0	23.4	39.6	36.9	7.5	7.8	14.1	7.5
九 州	100.0	26.5	34.3	39.2	8.8	14.7	10.8	4.9

## (7) 露地花き類・花木

単位：%

区 分	計	既に取り 組んでいる	将来取り 組みたい	取り組む 予定はない	そ の 主 な 理 由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その 他
全 国	100.0	9.7	25.3	64.9	4.9	18.8	26.3	14.9
九 州	100.0	7.5	30.0	62.5	-	17.5	25.0	20.0

## (8) 施設花き類・花木

単位：%

区 分	計	既に取り 組んでいる	将来取り 組みたい	取り組む 予定はない	そ の 主 な 理 由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その 他
全 国	100.0	19.5	29.7	50.8	5.9	21.9	14.8	8.2
九 州	100.0	36.4	29.1	34.5	3.6	18.2	7.3	5.5

## (9) 工芸農作物

単位：%

区 分	計	既に取り 組んでいる	将来取り 組みたい	取り組む 予定はない	そ の 主 な 理 由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その 他
全 国	100.0	19.0	32.4	48.6	8.3	11.1	20.9	8.3
九 州	100.0	27.0	39.0	33.9	8.1	6.6	12.3	6.9

## (10) 麦 類

単位：%

区 分	計	既に取り 組んでいる	将来取り 組みたい	取り組む 予定はない	そ の 主 な 理 由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その 他
全 国	100.0	18.0	33.7	48.3	8.2	11.9	20.7	7.4
九 州	100.0	7.2	30.4	62.3	11.6	15.9	23.2	11.6

## 10 農産物残さの主な処理方法別農家数割合

### (1) 露地野菜

単位：%

区 分	計	廃棄 (焼却等)	自家施設で たい肥化	共同利用で 施設たい肥化	家畜の飼料と や敷料として利用	エネルギー 利用	ほ場への すき込み	その他
全 国	100.0	26.8	7.5	0.8	1.9	0.0	59.0	3.9
九 州	100.0	29.9	3.4	0.5	3.7	-	59.6	3.0

### (2) 施設野菜

単位：%

区 分	計	廃棄 (焼却等)	自家施設で たい肥化	共同利用で 施設たい肥化	家畜の飼料と や敷料として利用	エネルギー 利用	ほ場への すき込み	その他
全 国	100.0	55.4	10.1	0.1	0.8	-	29.0	4.7
九 州	100.0	48.0	6.1	-	0.7	-	41.6	3.7

### (3) いも類

単位：%

区 分	計	廃棄 (焼却等)	自家施設で たい肥化	共同利用で 施設たい肥化	家畜の飼料と や敷料として利用	エネルギー 利用	ほ場への すき込み	その他
全 国	100.0	22.7	4.3	-	5.6	-	61.9	5.4
九 州	100.0	24.8	3.6	-	8.0	-	62.0	1.5

### (4) 大豆

単位：%

区 分	計	廃棄 (焼却等)	自家施設で たい肥化	共同利用で 施設たい肥化	家畜の飼料と や敷料として利用	エネルギー 利用	ほ場への すき込み	その他
全 国	100.0	15.7	3.7	0.2	1.7	-	75.8	2.9
九 州	100.0	22.0	1.6	-	1.6	-	72.4	2.4

## (5) 露地果樹

単位：%

区 分	計	廃棄 (焼却等)	自家施設で たい肥化	共同利用で 施設たい肥化	家畜の飼料と 敷料として利用	エネルギー 利用	ほ場への すき込み	その他
全 国	100.0	54.8	4.6	0.2	1.1	0.3	29.1	9.9
九 州	100.0	66.1	3.6	0.2	1.8	-	21.2	7.1

## (6) 施設果樹

単位：%

区 分	計	廃棄 (焼却等)	自家施設で たい肥化	共同利用で 施設たい肥化	家畜の飼料と 敷料として利用	エネルギー 利用	ほ場への すき込み	その他
全 国	100.0	52.6	8.1	0.9	0.3	-	30.3	7.8
九 州	100.0	53.9	4.9	1.0	1.0	-	32.4	6.9

## (7) 露地花き類・花木

単位：%

区 分	計	廃棄 (焼却等)	自家施設で たい肥化	共同利用で 施設たい肥化	家畜の飼料と 敷料として利用	エネルギー 利用	ほ場への すき込み	その他
全 国	100.0	45.5	8.1	0.3	0.6	-	39.9	5.5
九 州	100.0	55.0	-	2.5	-	-	42.5	-

## (8) 施設花き類・花木

単位：%

区 分	計	廃棄 (焼却等)	自家施設で たい肥化	共同利用で 施設たい肥化	家畜の飼料と 敷料として利用	エネルギー 利用	ほ場への すき込み	その他
全 国	100.0	38.3	16.0	-	-	-	39.8	5.9
九 州	100.0	40.0	14.5	-	-	-	41.8	3.6

## (9) 工芸農作物

単位：%

区 分	計	廃棄 (焼却等)	自家施設で たい肥化	共同利用で 施設たい肥化	家畜の飼料と 敷料として利用	エネルギー 利用	ほ場への すき込み	その他
全 国	100.0	17.8	4.3	0.7	2.6	0.1	69.9	4.5
九 州	100.0	21.0	3.0	1.2	5.7	-	65.5	3.6

## (10) 麦 類

単位：%

区 分	計	廃棄 (焼却等)	自家施設で たい肥化	共同利用で 施設たい肥化	家畜の飼料と 敷料として利用	エネルギー 利用	ほ場への すき込み	その他
全 国	100.0	13.5	2.4	-	12.2	-	65.5	6.4
九 州	100.0	40.6	-	-	8.7	-	43.5	7.2

## 11 エコファーマー認定の意向別農家数割合

### (1) 露地野菜

単位：%

区 分	計	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	受ける予定はない	その主な理由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
					全 国	100.0	4.9	24.5
九 州	100.0	9.2	26.4	64.4	13.2	9.6	34.4	7.2

### (2) 施設野菜

単位：%

区 分	計	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	受ける予定はない	その主な理由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
					全 国	100.0	13.8	34.0
九 州	100.0	23.3	38.9	37.8	8.8	6.8	16.2	6.1

### (3) いも類

単位：%

区 分	計	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	受ける予定はない	その主な理由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
					全 国	100.0	3.8	21.6
九 州	100.0	3.6	22.6	73.7	16.8	8.0	41.6	7.3

### (4) 大 豆

単位：%

区 分	計	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	受ける予定はない	その主な理由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
					全 国	100.0	2.8	25.0
九 州	100.0	2.4	17.9	79.7	8.9	8.1	45.5	17.1

## (5) 露地果樹

単位：%

区 分	計	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	受ける予定はない	その主な理由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
全 国	100.0	5.4	19.8	74.9	11.8	13.4	35.5	14.2
九 州	100.0	10.2	21.2	68.6	7.4	13.4	32.8	14.9

## (6) 施設果樹

単位：%

区 分	計	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	受ける予定はない	その主な理由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
全 国	100.0	9.6	32.7	57.7	14.1	12.3	22.2	9.0
九 州	100.0	7.8	41.2	51.0	20.6	7.8	16.7	5.9

## (7) 露地花き類・花木

単位：%

区 分	計	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	受ける予定はない	その主な理由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
全 国	100.0	1.0	15.3	83.8	7.5	23.4	38.6	14.3
九 州	100.0	-	15.0	85.0	10.0	30.0	32.5	12.5

## (8) 施設花き類・花木

単位：%

区 分	計	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	受ける予定はない	その主な理由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
全 国	100.0	2.3	25.8	71.9	7.0	23.8	27.3	13.7
九 州	100.0	3.6	36.4	60.0	5.5	20.0	20.0	14.5

## (9) 工芸農作物

単位：%

区 分	計	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	受ける予定はない	その主な理由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
全 国	100.0	5.0	27.3	67.7	9.1	14.1	32.8	11.7
九 州	100.0	10.8	34.8	54.4	10.5	10.5	21.6	11.7

## (10) 麦 類

単位：%

区 分	計	既に認定を受けている	将来認定を受けたい	受ける予定はない	その主な理由			
					条件がきびしい	特に利点がない	関心がない	その他
全 国	100.0	2.1	30.8	67.1	10.9	15.1	31.3	9.8
九 州	100.0	-	24.6	75.4	14.5	10.1	40.6	10.1

## (参考) 調査の定義及び約束事項

### 1 定義

[あ行]

エコファーマー

「持続性の高い農業生産方式」として農林水産省令で定める「たい肥等による土づくり」、「化学肥料の施用を減少させる効果の高い施肥技術」、「化学農薬の施用を減少させる効果の高い防除技術」のすべてを用いる導入計画を作成し、都道府県知事の認定を受けた者をいいます。

汚泥コンポスト

下水汚泥等をたい肥化したものをいいます。

[か行]

化学肥料

化学的な方法によって、無機質原料から製造された肥料をいいます。

化学合成緩効性肥

尿素とアルデヒド類を低縮合などで、難水溶性もしくは微生物による分解を受けにくくし、長期にわたって少しずつ窒素成分を溶出できるようにしたものです。

一般に「IB」、「CDU」、「UF」、「GU」、「オキサミド」等の文字が商品名に付加されています。

家畜ふん尿たい肥

牛、豚、鶏等のふん尿をたい肥化したものをいいます。

機械による除草

有害植物を機械的方法により駆除する技術をいいます。

局所施肥

局所施肥とは、通常土壌全面に対して行われる施肥方法を作物の根域へ集中して施用する施肥方法をいいます。この方法は、従来の全面全層施肥方法では作物の根域以外の部分へ使用された肥料については無駄になっていたものを作物根域への局所施肥に替えることにより、効率的な利用を図るものです。供給養分の作物による利用効率を向上させることにより、作物収量は維持しつつ、施肥量が節減できることから、環境負荷の軽減に効果的です。

高度化成肥料

窒素、りん酸、加里のうち2成分以上を含み、その含量が30%以上の化成肥料をいいます。

[さ行]

植物質肥料

なたね油かす、米ぬか油かす等、植物質の肥料をいいます。

植物成長調整剤

植物の生理機能の増進または抑制などの目的で用いられる薬剤をいいます。

硝酸化成抑制材  
入窒素肥料

窒素質肥料は、通常アンモニア態の形で比較的安定しているが、硝酸態窒素になると土壌からの流亡、大気中への散逸が容易に行われることとなります。このことから、アンモニア態から

	(亜)硝酸態への変化を抑制(微生物の活性を抑制)することにより肥効を維持する硝酸化成抑制材を混入した肥料をいいます。一般に「シジアン」 <sub>Ⓜ</sub> 「ST」 <sub>Ⓜ</sub> 「ASU」 <sub>Ⓜ</sub> 「DCS」 <sub>Ⓜ</sub> 「ATC」 <sub>Ⓜ</sub> 「AM」 <sub>Ⓜ</sub> 「MBT」等の文字が商品名に付加されています。
〔た行〕 たい肥	家畜ふん尿たい肥、都市ごみコンポスト、汚泥コンポスト、バークたい肥等をいいます。
対抗植物の利用	土壌中の有害動植物を駆除し、又はそのまん延を防止する効果を有する植物を栽培する技術をいいます。例えば、キタネグサレセンチュウ、サツマイモネコブセンチュウなどを効果的に減少させる植物として、マリーゴールド、ギニアグラス、クロタラリア、ハイオツ、エビスグサなどがあります。
単肥	通常は、窒素、りん酸、加里のうち1成分のみを含み、1回の製造単位で造られ、化成肥料(普通化成肥料、高度化成肥料)や配合肥料のように、更に加工や混合等の過程を経ていない肥料をいいます。
動物質肥料	魚かす粉末、肉かす粉末、骨粉等、動物質の肥料をいいます。
都市ごみコンポスト	都市から発生する生ごみ等の有機廃棄物をたい肥化したものをいいます。
〔な行〕 農薬(化学農薬)	農産物等の生産、品質に悪影響を及ぼす害虫、病原菌、雑草等の駆除、発生の制御等を行うために農産物、土壌、施設等に使用する薬剤をいい、殺虫剤、殺菌剤、殺虫殺菌剤、除草剤等の種類があります。
〔は行〕 配合肥料	固形の原料どうしを配合したもので、窒素、りん酸、加里の3要素のうち2成分以上を主成分として、それぞれの主成分の合計量10%以上を保証する肥料をいいます。
バークたい肥	製材工場から排出される樹皮を主原料に、牛、豚、鶏のふんその他、各種の有機性廃棄物をたい肥化したものをいいます。
肥効調節型肥料	通常使用される化学肥料は、即効性のものがほとんどですが、肥料を薄い皮膜で被うこと等により、土壌における肥料成分の溶出や形態変化を物理的あるいは化学的方法により調節・制御し、作物の養分要求に応じて肥料成分を適期に供給することを目標に開発された肥料の総称です。 被覆肥料、化学合成緩効性肥料、硝酸化成抑制剤入窒素肥料

	等があります。
被覆肥料（コーティング肥料）	化学肥料の粒をポリ塩化ビニリデン、パラフィンワックス等の微細な孔の開いた薄い皮膜で被覆し、肥料成分の溶出量や速度を物理的に調節するものをいいます。 一般に「被覆」または「コート」等の文字が商品名に付加されています。
被覆栽培	農作物を有害動植物の付着を防止するための資材で被覆する技術をいいます。具体的には、べたかけ栽培技術、雨よけ栽培技術、トンネル栽培技術、袋かけ栽培技術等です。
普通化成肥料	窒素、りん酸、加里のうち2成分以上を含み、その含量が30%未満の化成肥料をいいます。
ぼかし肥	油かす、骨粉、魚かすなどの有機質肥料を混ぜ合わせ、水分を加えて発酵させた肥料をいいます。
〔ま行〕 マルチ栽培	プラスチックフィルム等で土壌表面を被覆する栽培であり、肥料成分の溶脱防止、土壌の流亡防止、黒色マルチによる雑草発生防止、反射マルチによる害虫忌避などの効果があります。 また、田面を再生紙で被覆し、その紙マルチの遮光効率によって、雑草の発生を抑制する方法もあります。
〔や行〕 有機質資材	植物残さや家畜ふん、そのたい肥化したもの等をいいます。「動物質肥料」、「植物質肥料」、「ぼかし肥」及び「たい肥」等があります。

## 2 約束事項

化学肥料、化学農薬をともに地域の慣行の半以下に縮減する栽培方法

農林水産省の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」では、「化学肥料、化学農薬の使用回数を、ともに地域の慣行の半以下に縮減する栽培方法」で生産された農産物に「特別栽培」の表示ができることを定めているが、その栽培方法をいいます。

化学肥料の投入状況

当該作物の栽培に使用した普通肥料（農林水産大臣・都道府県知事登録肥料及び指定配合肥料）及び特殊肥料（都道府県知事に届出）の10a当たり投入量について調査しています。

窒素、りん酸、加里の3要素ベースでの投入を把握するため、これらを含まない土壌改良資材（バーミキュライト、パーライト等）、微量元素肥料（ほう素、マンガン、亜鉛、銅、モリブデン、鉄等）、石灰質肥料、苦土質肥料等は対象外としています。

有機質資材の投入状況	当該作物の栽培に使用した有機質資材について、「動物質肥料」、「植物質肥料」、「ぼかし肥」及び「たい肥」については投入した農家数割合及び10a当たり投入量を調査し、その他の有機質資材については投入の有無を調査しています。
農薬の使用状況	当該作物の栽培期間中に使用した農薬（農薬取締法による登録を受けていないものを除く。）を農薬種類ごとに投入回数を調査しました。なお、展着剤（粉末の薬剤を水に溶かす時に加える補助剤で、薬剤を水中に均一に分散させ、葉への接着性を高めて薬効を維持させる働きを持つ薬剤）は対象外としています。
農薬以外の防除方法	農薬以外の防除方法については、「機械による除草」、「対抗植物の利用」、「被覆栽培」及び「マルチ栽培」に区分しています。

## 【利用上の注意】

### 1 調査の概要

本調査は、農業が本来有する自然循環機能の維持・増進を図るため、肥料や農薬の使用を低減するとともに、たい肥による土づくりを行う環境保全型農業を推進する諸施策に必要な資料を得るため、農家における肥料、農薬の平均的な投入実態や持続性の高い生産技術に関する意向等を把握したものです。

### 2 調査対象範囲

調査の対象は、2000年世界農林業センサス結果を基に販売を目的として野菜、いも類、大豆、果樹、花き類・花木、工芸農作物、麦類を生産している全国の農家の中から、調査作目別に各農家の作付面積の大きさに比例した抽出法（作付面積確率比例抽出法）を用いて抽出した14,228戸（うち九州は、2,678戸（平成14年度は1,448戸、15年度は1,230戸））の農家を対象としています。

### 3 調査対象作物

露地野菜：トマト、きゅうり、なす、ピーマン、すいか、いちご、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、たまねぎ、レタス、だいこん、にんじん、さといも

施設野菜：トマト、きゅうり、なす、ピーマン、すいか、いちご、メロン

いも類及び大豆：ばれいしょ、かんしょ、大豆

露地果樹：りんご、ぶどう、日本なし、もも、温州みかん、かき、くり、うめ

施設果樹：温州みかん、ぶどう

露地花き類・花木：全ての品目

施設花き類・花木：全ての品目

工芸農作物：たばこ、茶、さとうきび、てんさい

麦類：小麦

注：「てんさい」は、九州は調査対象なし。

- 4 調査の対象期間及び調査期日  
露地野菜、施設野菜、いも類及び大豆は、平成13年12月1日～14年11月30日、露地果樹、施設果樹、露地花き類、施設花き類、工芸農作物、麦類は、平成14年12月1日～15年11月30日の1年間の状況を、平成14年12月1日及び15年12月1日現在で調査しています。
- 5 調査の方法  
調査客体に調査票を郵送し、農林水産省職員が回収する自計申告調査の方法により実施しています。
- 6 回収  
(1) 14年度調査：全国は、7,189戸から有効回答（回収率91.5%）、うち九州は、1,390戸から有効回答（回収率96.0%）を得ました。  
(2) 15年度調査：全国は、5,976戸から有効回答（回収率93.8%）、うち九州は、1,150戸から有効回答（回収率93.5%）を得ました。
- 7 調査の定義及び約束事項  
31ページ「(参考)調査の定義及び約束事項」を参照。
- 8 調査値の集計方法  
(1) 肥料の投入量や農薬の投入回数等の数量データ  
数量データの集計は、作目別に以下の方法により行っています。  
ア 農業地域別結果（平均値）の集計方法  
(ア) 農家平均の作成  
農家の10a当たり肥料投入量等の数量データを積み上げ、当該農家の年間栽培面積で除して算出しています。  
(イ) 農業地域平均の集計  
次に、農業地域別に、(ア)の農家平均値を積み上げ、当該農業地域内の全標本農家数で除して、当該農業地域平均値を算出しています。  
イ 全国結果（平均値）の集計方法  
アの(イ)で求めた当該農業地域平均に、当該農業地域の作付面積ウェートを乗じた後、すべての農業地域分を積み上げ、全国の作付面積で除して全国平均値を算出しています。  
(2) (1)以外のデータ  
(1)以外のデータの集計は、該当した農家をカウントする方法により行っています。  
なお、選択項目については、各項目別に該当した農家数をカウントし、その構成比を求めています。  
(3) 利用上の留意点  
調査対象作目を栽培するために投入した有機質資材、化学肥料及び農薬について、年間の作付期間・回数等に係わらず、調査対象期間の1年間に投入された数量について集計しています。  
ア 有機質資材の投入量  
標本農家が調査対象作目を栽培するために投入した有機質資材を、その種類別に集計しています。  
イ 化学肥料の投入量  
標本農家が調査対象作目を栽培するために投入した化学肥料を種類別に調査し、それを成分（窒素：N、りん酸：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>、加里：K<sub>2</sub>O）別、基肥及び追肥別等に集

計しています。

#### ウ 農薬の投入回数

標本農家が調査対象作目を栽培するのに投入した農薬の投入回数を農薬種類別に集計しています。なお、投入した農薬の製品（製剤）単位でカウントした投入実回数を集計しています。

### 9 統計表の表示

(1) 表示単位未満を四捨五入したため、内訳の積み上げ値と計とは必ずしも一致しません。

(2) 表中に使用した符号は、次のとおりです。

「 - 」: 事実のないもの

「0.0」: 単位に満たないもの

### 10 調査結果の詳細

この調査結果の詳細は、農林水産省が別途刊行する『持続的生産環境に関する実態調査報告書 - 持続性の高い農業生産方式への取組状況 - 』に掲載します。

#### 掲載内容に関する問い合わせ先

電話:(代)096-353-3561 内線4735

直通電話: 096-353-7559

担当:九州農政局 統計部 経営・構造統計課 構造統計第2係

九州農政局ホームページでもご覧になれます。

<http://www.kyushu.maff.go.jp>



農林水産省では2005年農林業センサスを平成17年2月1日現在で実施します。

この調査は我が国の農林業に関する基本的な統計調査です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

「10月18日は統計の日」

- 統計はあなたのまちの健康診断 -